



命の大切さ学習教室に参加して



熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に
乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



私は命の大切さ学習で雄宇也くんのお母さんの話を聞いて家族や友達を大切にしようと思いました。私はいつもこの生活が毎日続くと思っています。でもこの生活が毎日続くか分からないと初めて思いました。私はたまに放課後に遊びに行きます。そのときも命のじゅぎょうのことをあたまに入れて遊びに行きます。私は命のじゅぎょうを知らなかったらゆうやくんのお母さんの悲しみや、つらさ、苦しさを分からなかったと思います。私は命のじゅぎょうをうけてお母さんがいつも私たちのことを思ってくれているわかりました。いつも「おかえり」や「いってらっしゃい」など私はどんな意味で言っているのか分からなかったけどゆうやくんのお母さんの話を聞いたら分かったような気がしました。最後に私はお母さんや叔父たちのことをあらためて大切に大事にしたいと思いました。私はゆうやくんのことをわすれません

学校名

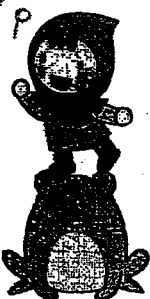
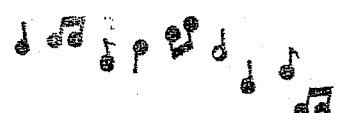
淳西

小学校

名前

(名前を出さない方は、書かないでください。)

佐藤 萌夏





命の大切さ学習教室に参加して



熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に
乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



私は、毎日ニュースを見ていて、県内のニュースや、全国の
ニュースを見ても、事故や事件のニュースがあり、それを見る
たび、悲しく、心苦しい気持ちになります。今回の命の大
切さ学習を学び、ます。悲しい気持ちと雄宇也さんの
もと生きていたかったらうなと思い、自分まで号泣して
しまいました。今回の学習を開いてくださり、本当にありが
とうございます。自分の命の大切さや、家族、そして友達のこと
もこれまで以上に大事に大切にしていきたいと思ひ
ます。いつも通り毎日生活することがあたりまえだ。と思って
きたけれど、今回学んだことを生かして一日一日大切に
すごしていきたいです。自分の家から学校まで、通学時
間が長いので、左右をしっかりと確認にし、これまで通り安全
に登下校したいです。習い事でも自転車を使うので、
スピードなどに気を付けたいです。

学校名

淳城西

小学校

名前

(名前を出さない方は、書かないでください。)

児玉

紗弥子





命の大切さ学習教室に参加して



熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に
乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



熊谷雄宇也くんのお母さん、今回はつらいことを私たちのため
にお話ししてくださり、ありがとうございます。私は、自分 と
て大切な人がとっぜんいなくなったら、どうなるかとかは、
分からないし、分かりたくもありません。でも、いつか分
かってしまう時がくると思うし、自分が今生きている時
間を生きることができなかつた人もいるということをし、かり
覚えておきたいです。学校や外出先では、悪口やいってはい
けない言葉 が飛びかっています。でも、雄宇也くんが亡くな
ってしまった人たちのことを考えてみると、申しわけないし、
つらいので、そういう人にはならず、命の大切さ、とうとさが
ちゃんと分かる人になりたいです。そして、雄宇也くんのお母さ
んは、大切な人をなくしたつらさと向き合い、さらには
私たちに大切なことを教えてくださいました。今回のお話
で、命は大切だけど、かんたんにこわれてしまう。だからこそ、
とうとい。そういうことが分かりました。今回は本当に、あり
かとうございました。

学校名

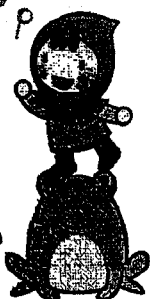
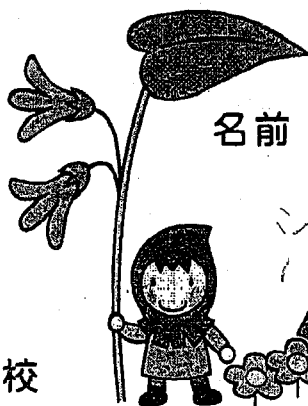
西

小学校

名前

(名前を出さない方は、書かないでください。)

池端 美和





命の大切さ学習教室に参加して



熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に
乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



私は、当たり前に1日を過ごして、毎日家族に会えて、おはよう、
おやすみ、いただきますなどというあいさつをするのが日常で、すきのう
会えた人が一生会えなくなるのはとてもつらく、悲しいことだと思い
ました。私もおじいさんが病気をなくなった時を見ています。ゆうやくん
のお母さんが言っていたように、人はあ、さり亡くなるということを知
っています。なので自分にお母さんやお父さんがいるのを当たり前と思わ
ないようにしたいです。ゆうやくんは交通事故かなかったら、今は25
才という大人になっていたと言っていました。自分がハンドルをにぎる
ということは、人の命をうばわないというセキ仕があります。家まで
あと少しという所で、ゆうやくんははねられたという話を聞きました。
そしてさいはんが殺されてから、その加害者が笑っていたといってい
て私もやるせない気持ちになりました。いくつもの学校に行き、この話をし
てつらい気持ちだけれど悲しい話をしてくれて、分かったことがたくさ
んありました。来てくれてありがとうございます。

学校名

流山市立小

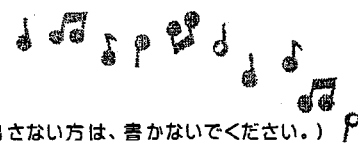
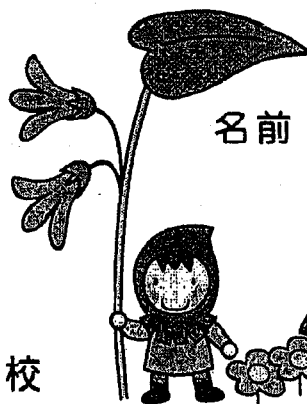
流城西

小学校

名前

(名前を出さない方は、書かないでください。)

京極 依直





命の大切さ学習教室に参加して



熊谷雄宇也くんのお母さんに宛てた手紙です。

平成 17 年 11 月 28 日、当時小学1年生の雄宇也くんは、下校途中に
乗用車にはねられ意識不明の重体となり、翌 29 日に亡くなりました。



私は、今までできていたこの生活が当たり前だと思ってました。
また 朝に起きて、朝ご飯を食べて、学校に行、て... そんな
生活ができてるのは、本当に大切だとよく分かりました。
熊谷さんの話を聞いて、今までは普通に暮らしていた生活
が急になくなると思うと、本当に悲しいことだと思いました。
お母さんが私を生んでくれたこと、11年間今まで育ててくれ
たことに感謝しようと思いました。
また、友達かもし命を落としてしま、たら... と考えると、友達
と遊べてることにも感謝したいです。
これからは、ずっと生きれていること、普通の生活が"おくれて
いること、感謝の気持ちと命を大事にしようと思えよ
うと思いました。

学校名

湊城西

小学校

名前

(名前を出さない方は、書かないでください。)

今井 美咲

